

未来の農業を育む ～両沼地域の担い手支援について～

会津農林事務所 会津坂下農業普及所

1 背景・ねらい

○背景

- ・近年、両沼地域は高齢化等により、主要な担い手である**認定農業者が急速に減少している**。（表1）
- ・基幹となる担い手の育成・維持が必要であり、**新規就農者の確保や若手農業者の育成、既存農業者への支援が急務である**。

表1 認定農業者数の推移

	R2	R3	R4	R5
認定農業者数	631	612	597	575

○ねらい

- ・就農の受入れから新規就農への支援、就農後の経営確立までの支援を行い、**新規就農者の誘導と定着を図る**。
- ・地域を支える経営体へ重点的な支援を行い、**地域農業の維持を図る**。

2 活動内容

（1）新規就農者の受入れ支援

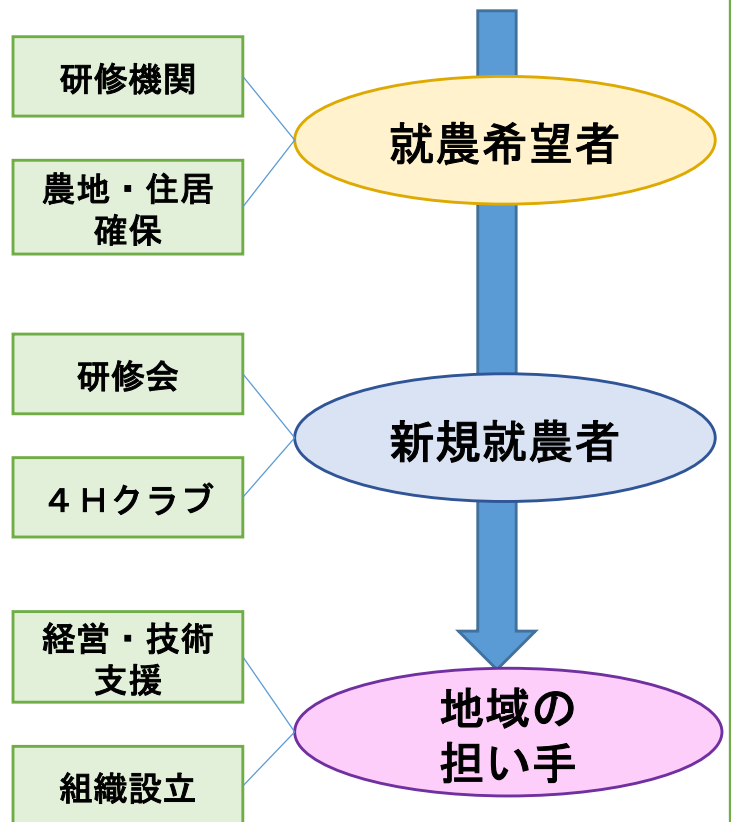
- ①就農前の基礎知識や技術習得
⇒**研修機関を整備**
- ②就農希望者の農地・住居の確保
⇒**関係機関と連携**

（2）新規就農者の育成支援

- ①就農後の技術習得や経営力向上
⇒**研修会を年に複数回開催**
- ②**若手農業者の交流（横の繋がりによる成長）**
⇒担い手の育成・交流の場である
4Hクラブへの誘導及びプロジェクト活動の推進

（3）担い手の経営・技術支援

- ①担い手が抱える課題の解決
⇒課題を持つ担い手に対して、**関係機関と連携し、課題解決に向けて支援**
- ②担い手の技術向上・情報交換
⇒会津地方（南会津含む）の中核的な農業者で構成する**広域担い手組織の設立及び活動支援**



3 段階の取組で一貫した支援！



新規就農者研修会



4Hクラブ定例会

3 活動成果

(1) 新規就農者の受入れ支援

- 地域農業者を誘導し、研修機関が増加（表2）
⇒就農までの**選択肢の増加**や就農相談時の**研修機関への誘導が可能に！**
- 広域的な研修機関の設立
⇒研修機関の「昭和かすみ草振興協議会」では**町村の枠を越えた実践講座**（通称：かすみの教習所）を実施し、**R3～R5までに14名が研修修了！**
- ほ場整備地区の担い手の確保
⇒新規就農希望者2名を誘導し、**ほ場整備が完了する令和7年度より就農予定！**

表2 管内認定研修機関数

	R3	R4	R5	R6
研修機関数	1	4	6	7

県内でも少ない肉用牛や有機農業などの品目も研修機関に

座学では普及所も講師として参加



かすみの教習所修了式

(2) 新規就農者の育成支援

- 新規就農者研修会を開催
⇒令和6年度では**会津農林事務所で計4回開催！**
- 4Hクラブの会員数が増加（表3）
⇒会員同士の交流が盛んになり、定例会やプロジェクト活動などが活性化し**青年農業者の意欲が向上！**

アンケートでは参考になったとの声

表3 4Hクラブ会員数

	R2	R3	R4	R5	R6
4Hクラブ会員数	11	12	16	17	22

令和6年度には活動が評価され福島県農業賞を受賞！

(3) 担い手の経営・技術支援

- 取り組む課題を明確化
⇒農業経営・就農支援センターを活用した専門家派遣やJA等と連携して対象の課題確認を行い、**取り組むべき事項の洗い出し、提案を実施した。**
- 広域組織「AIZU FARMERS」の設立
⇒令和6年度に会津地方の農業者（8名）が主体となり担い手の資質向上と経営安定化を目的とした組織を設立。
研修会等を開催し、農業者の技術交流の場に！

普及所は設立を支援し、アドバイザーとして参加



AIZU FARMERS
設立総会

4 今後の活動・方向性

(1) 研修機関の充実

- 研修生の受入れ先を増やし、管内で多様な品目での研修が可能となるように誘導を図る。

(2) 農業者組織の発展

- 両沼農村青年クラブやAIZU FARMERSなどの農業者が主体となって活動する組織への支援と新規会員の誘導活動を行う。

(3) 担い手への重点支援

- 経営や栽培面での課題を抱える地域の担い手に対して、引き続き関係機関と連携した支援を行い課題の解決を図る。